

[専門教育科目/看護研究]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護研究Ⅱ	NSP45_001	必修	2	4	通年
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎 他	302	s.mochizuki	指導教員より提示する。		
授業の目的・概要	これまでの実習を通して体験した事例や探究したい課題に対して、「看護研究Ⅰ」で学修した研究方法論を展開しながら、研究的態度を養う。研究テーマの確定、先行研究の文献検討、研究計画書の作成という一連の流れを通して、研究の基礎的方法を学ぶとともに、看護専門職者としての資質を向上させる。文献クリティーク等はオンラインもしくは対面でグループディスカッションを行い、看護研究計画を作成するまでの一連の流れについて理解を深める。				
学習上の助言	本科目には、3 年次必修科目の「看護研究Ⅰ」をしっかり復習した上で臨むこと。また、領域別実習や総合実習と密接に関わっており、連動させて学修していく。				
教科書	看護における研究 第2版 / 編：南裕子 他 / 日本看護協会出版会 / 2017 (看護研究Ⅰで使用したもの)				
参考書	指導教員より適宜提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護研究の一連のプロセスを説明することができる。		HSU(2)、NS(1)		
②	自身の興味・関心に基づいて先行文献を調べることができる。		HSU(2)、NS(2)		
③	研究計画に必要な要素を含んだ計画書を作成することができる。		HSU(2)、NS(3)		
④	主体性を持って、計画的に取り組むことができる。		HSU(5)、NS(5)		
授 業 計 画					
学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
<ol style="list-style-type: none"> <li>文献検索</li> <li>文献レビュー</li> <li>研究テーマ・目的の検討</li> <li>研究デザインの検討</li> <li>緒言 (関連文献の検討を含む) の作成</li> <li>方法 (倫理的配慮含む) の検討・作成</li> <li>研究の実施 (任意)</li> <li>成果発表 (領域別に実施)</li> </ol>		同時双方向型授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学修や経験から、興味、関心を持った分野の先行研究を自主的・積極的に調べる。</li> <li>担当教員の指示に従い学習計画を立てる。</li> <li>自ら進んで指導を受ける心構えで、主体的に担当教員にアポイントをとり、資料を整えた上で授業に臨む。</li> <li>成果発表は、準備を含め学生主体で行う。</li> </ul>		
			計 30	0.5/回	

[専門教育科目/看護研究]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	10	50	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取り組みの姿勢・意欲	0	0	0	50	0	50
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	3枚以上8枚以内 (A4用紙 40字×25行) 別に表紙 (研究テーマ・学籍番号・学生氏名・指導教員名) をつけ、左上1箇所をホチキス止めし、担当教員に提出する。 提出期日：原則として10月末日				
	②	✓					
	③	✓					
	④						
成果発表	①		領域別に実施する。指導教員の指示に従い資料を作成する。当日に向けた準備やリハーサル、進行は、教員の指導のもと学生主体で行う。				
	②						
	③						
	④	✓					
ポートフォリオ	①		学習スケジュール・文献カード・配布資料をファイリングし、自己管理していく。これを用いて、評価のための最終面接を実施する。また、日々の学習態度、レポート作成への取り組み姿勢を含め、総合的に評価する。				
	②						
	③						
	④	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示す教員が学生の指導にあたる。また、教員の補助者として助手が指導する場合もある。</li> <li>◎望月宗一郎 (科目責任者) 窪川理英 (副責任者)</li> <li>石野徳子 坂本文子 平尾眞智子 山崎洋子 小林美雪 溝口孝美 森川三郎 山田真衣 佐野宏一朗 田中深雪 堀口まり子 渡邊美樹 伊丹幸子 深沢淳子 山崎さやか 吉岡睦世</li> <li>本シラバスは一定の方針を示したものであり、詳細については領域の裁量に委ねられる。</li> <li>レポート提出や成果発表の詳細等は指導教員の指示に従うこと。</li> <li>自ら進んで指導を受ける心構えで臨み、計画的に進めること。</li> <li>主体的に指導教員と連絡を取り、積極的な態度で臨むことを重んじる。</li> <li>担当する教員は、看護職としての実務経験を活かしこの科目を教授する。</li> <li>担当教員によっては一部 Teams を使った同時双方向型授業を行うため、通信容量無制限の Wi-fi 環境を推奨する。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバスの内容が一部変更となる可能性がある。</li> </ul>							